

## 令和2年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

生徒個々の「生きる力」「進路を切り開く力」の伸長を図る地域と密接に連携した教育活動により、地域社会に貢献できる能力と豊かな人間性を持つ人材を育成し、地域に信頼される高校をめざす。

- 1 生徒が積極的に参加・活動する「わかる授業」を推進し、「スモールステップで学びを支援」し、「確かな学力」を育成する。
- 2 キャリア教育の充実に努めると共に、自立支援コース並びに専門コース等において特色ある教育活動を展開し、主体的に進路実現できる生徒を育成する。
- 3 教育活動全体を通じて、規範意識、人権意識の向上を図るとともに、地域との交流・連携を深め、安全・安心な学校としての信頼感を高めていく。

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成と授業改善

- (1) 生徒の参加・活動量の多い「わかる授業」をめざした授業改善に取り組み、自ら学ぶ生徒を育てる。
    - ア アクティブ・ラーニングを取り入れ、生徒の授業参加と活動量を積極的に増加させ、学びを深める。
    - イ 教員相互の授業見学、他校や中学校の授業見学、授業アンケートを効果的に活用し、授業改善に取り組む。
    - ウ 国際交流事業、英語検定・GTEC等を活用し、国際理解教育を推進する。
    - エ 「阿武野プロジェクト(あぶプロ)～学力充実プロジェクト委員会」を中心として、組織的な授業改善を行い、生徒の学力の充実に努める。さらに新学習指導要領を見据え、カリキュラムマネジメントに取り組む。
- ※ 授業アンケートにおける興味関心、知識技能に係る生徒の満足度(H29:81%、H30:79%、R1:80%)を上昇させ、令和4年度には87%以上にする。  
 ※ 平均家庭学習時間を毎年度10分増加させる。  
 ※ ICTを活用した授業(H29:3000時間、H30:4500時間、R1:6653時間)を増加させ、令和4年度も5000時間以上を維持する。

## (2) 学習環境の整備、授業規律の確立を図る。

- ア 学習環境整備、授業準備、授業規律の指導を徹底し、授業に集中できる環境を整える。

## 2 進路意識の高揚とコース制の充実

- (1) 進路指導部と学年が協力して、系統的キャリア教育の充実に努め、主体的に進路を選択し実現できる生徒を育てる。
    - ア 総合的な学習の時間(ライフ・プランニング=LP)、LHR(ロングホームルーム)において、系統的・継続的なキャリア教育の充実に努める。
- ※ 進路決定率(H29:86%、H30:93%、R1:94%)を上昇させる。  
 ※ 学校紹介就職内定率は100%(H29:100%、H30:100%、R1:100%)を維持する。
- (2) 「自立支援コース」「スポーツ専門コース」「福祉・保育専門コース」をはじめ、すべての教育課程において、進路実現につながる特色ある教育活動を展開し、望ましい勤労観・職業観、基礎的・汎用的能力を養う。
    - ア コース毎に、生徒の実態や保護者のニーズに応じた教育内容の充実に努め、進路実現に導く。
    - イ コースの特色に応じて多様な教育活動を展開し、地域との交流・連携を深める。

## 3 安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成

- (1) すべての教育活動を通じて安全で安心な学校を作り上げ、規範意識、自尊感情、人権意識の高揚に努める。
    - ア 規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立を図るため、登校時の校門指導を強化し、一貫した生徒指導を行う。
    - イ LP、LHRにおいて、アサーション・トレーニングやメディアリテラシーの取組を含めた人権学習等を計画的に実施し、安全で安心な学校づくり、人権意識の高揚を図る。
    - ウ インクルーシブ教育の理念に基づいた「ともに学び、ともに育つ」教育、並びに地域の学校、諸団体との交流・連携を推進し、社会貢献を体験することで、生徒の規範意識、自尊感情、人権意識を育てる。
    - エ 防災教育、交通安全教育を計画的に継続して行う。
- ※ 遅刻について、前年度比5%の減少を図る。
- (2) 生徒の自主的活動を支援し自尊感情を育成するとともに、自らを律し他人を思いやる心を育てる。その際には、生徒を「褒めて育てる」「スモールステップで育てる」を意識する。
    - ア 学校行事、生徒会活動の活性化を図る。
    - イ 部活動の活性化を図る。
    - ウ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援の充実に努める。
- ※ 部活動加入率(H29:51%、H30:51%、R1:50%)を上昇させ、令和4年度には55%以上にする。

## 4 地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化する学校力の向上

- (1) 広報活動を推進する体制を強化し、学校教育活動を活性化する。
  - ア 中学校訪問、中高連絡会、学校説明会等を計画的、組織的に実施し、地域の信頼感を高める。
  - イ 学校教育活動全般について、適切な情報発信に努め、保護者、地域との信頼関係を高める。
- (2) 組織的、継続的に学校力の向上を図る。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【確かな学力の育成と授業改善】</p> <p>《生徒回答項目》(項目/肯定的回答/昨年度比、以下同じ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業への積極的参加/77.6%/+3.7p</li> <li>* 興味関心をもって学習でき授業に満足している/68.4%/+6.8p</li> <li>* 学習内容を理解することができている/71.2%/+3.9p</li> <li>* 家庭での予習復習/21.7%/+0.8p</li> <li>* 私語が少なくしっかり授業を聞く雰囲気/61.3%/+4.0p</li> <li>* 清掃をおこない授業を気持ちよく受けられる環境整備/72.3%/+5.9p</li> <li>* 授業開始時に必要なものを準備、課題の提出/81.2%/+2.6p</li> </ul> <p>《教員回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習指導や評価についての話し合い/97.3%/+2.7p</li> <li>* 教材の精選と工夫/91.9%/+5.4p</li> <li>* 参加体験型やグループ学習など学習形態の工夫/94.6%/+8.1p</li> <li>* ICT機器の活用/97.3%/+2.6p</li> <li>* 授業規律の確立/75.7%/+21.4p</li> </ul> <p>《保護者回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 子どもは授業が分かりやすいと言っている/64.4%/+7.0p</li> </ul> <p>・ 教員の学習形態の工夫の肯定的回答は今年度が過去5年で最も高く、生徒の授業満足度、授業理解も上昇傾向にある。保護者の子どもに対する学習理解の意識も過去5年で最も高く、この間の学力充実プロジェクトの取組みの効果が</p>	<p>【第1回 7月29日(水)】</p> <p>※今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休校措置のために、書面開催(学校側の説明文を協議会委員の皆様へ送付し、ご意見を頂戴した)とした。書面の送付は令和2年7月29日(水)、意見の集約は8月17日(月)までとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスの対応、何かと大変だと思いますが、頑張ってください。その中で、野球部の明るい話題、嬉しいですね。ひと筋の光ですね。良かったですね。</li> <li>・ 意見ではありませんが、資料1～9のお便りやHPを通じ、学校の様子や考えなどを適切に発信されていると感じています。本校も見習わねばと、現在、HPの更新に力を入れています。このような発信により、阿武野高校の良さや先生方の頑張りがじわじわと広がり、認められていくのではないかと思います。大変な時期ですが、頑張ってください。お互いに頑張りましょう。</li> <li>・ 他所の学校と比較できないので分かりませんが、このコロナ禍の状況下で、生徒に出来ることを考え、発信できていると思います。感染者が発生し、対応にご苦労されているのだと感じました。こういう時に、本当の意味での評価が問われます。先生方も不安や葛藤があると思いますが、資料等を見ると、皆さんで協力し、生徒の事を考え、行動できている事をうれしく思います。外部の方々にも阿武野高校の良い部分が伝わればと願っています。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染が未だ終息せず、先が見えない中、これ迄経験の無い事態への対応の大変さが資料を拝見し、分かりました。長い休校で不安や心配を抱える生徒たちの心のケアに一人ひとり個別に面談されたり、それぞれの家庭環境を考慮した学習支援を行う等、先生方の負担も増える中での肌理細やかな対応には、頭が下がる思いです。阿武野地区に於いても、夏祭り等、様々な行事が中止になり、地域交流がストップした状態が続いております。再び安心して活動が出来る様、より早い終息を願うばかりです。</li> </ul>

## 府立阿武野高等学校

ている。次年度は観点別評価の実施も踏まえ、効果的な研修を実施していきたい。

・今年度の授業規律についての項目は、教員も生徒も肯定的評価が上昇した。今年度は新型コロナウイルスによる臨時休校により、生徒にとって学校や授業の価値が再認識され、生徒が真面目に授業に取り組んだ事も影響しているだろう。次年度以降も、魅力ある授業を提供できるよう取り組んでいきたい。

## 【進路意識の高揚とコース制の充実】

## 《生徒回答項目》

- \* 進路学習の機会がある／91.7％／＋6.0p
- \* 地域や外部講師から学ぶ機会／81.4％／＋5.3p
- \* 専門コース授業の満足度（スポーツ）／82.7％／＋2.0p
- \* 専門コース授業の満足度（福祉保育）／82.9％／－0.3p

## 《教員回答項目》

- \* 系統的なキャリア教育がなされている／97.3％／＋23.6p
- \* 進路選択についてのきめ細やかな指導／91.9％／－0.2p
- \* 地域連携の機会／75.7％／－16.4p

## 《保護者回答項目》

- \* 進路学習についての丁寧な指導／80.0％／＋7.2p

- ・今年度は全ての回答でキャリア教育の項目が大きく上昇した。キャリアパスポートの導入や進路学習の機会が増えた事、3年生の総合的な探究の時間でキャリア教育を工夫し実践した事などが上昇の要因と思われる。
- ・地域連携の機会は、新型コロナウイルス対応の関係で激減。それが教員の回答に現れている。一方で、地域に出向けない中で、出来る範囲で外部講師を呼んで感染拡大防止に努めながら取組みを実施した事が生徒の項目の上昇に繋がったと思われる。

## 【安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成】

## 《生徒回答項目》

- \* 学校へ行くのが楽しい／73.9％／＋2.2p
- \* 保健室や相談室で相談することができる／61.3％／－5.8p
- \* 人権の大切さを学ぶ機会／89.3％／＋2.7p
- \* 障がい理解が深まる／87.5％／＋3.9p
- \* いじめへの対応／74.4％／＋4.9p
- \* 生徒指導への納得／50.1％／－3.2p
- \* 防災や交通安全指導の機会／84.3％／＋5.4p
- \* 学校行事満足度／80.0％／＋5.8p
- \* 委員会活動やクラス活動に積極的に参加／57.9％／＋3.8p

## 《教員回答項目》

- \* カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導／89.2％／＋3.1p
- \* 教育相談の体制／89.2％／－2.9p
- \* 人権研修の機会／91.9％／－2.8p
- \* 人権学習の取り組み／97.3％／＋2.6p
- \* いじめへの対応と体制／100％／＋2.6p
- \* 生徒指導体制／94.6％／＋7.8p
- \* 学校行事の工夫・改善／89.2％／－2.7p
- \* 体育大会や文化祭のルールや役割分担／72.2％／＋6.4p

## 《保護者回答項目》

- \* 子どもは学校に行くのを楽しみにしている／78.3％／＋6.0p
- \* 子どもは自分のクラスが楽しいと感じている／73.6％／＋4.0p
- \* 子どものことをよく理解してくれている／70.2％／＋4.9p
- \* 保護者の相談への対応／86.1％／＋8.4p
- \* 人権を尊重する教育への取り組み／89.5％／＋4.4p
- \* いじめへの対応／75.8％／＋8.5p
- \* 生徒指導方針に共感する／75.2％／＋4.6p
- \* 子どもの文化祭や体育大会でのいきいきとした活動／81.4％／－3.0p

・「保健室や相談室」での相談の肯定的回答が減少したが、これは養護教諭の複数配置が無くなり、保健室ではなく職員室や他のスペースを使っただけの相談に移行したため、実態が十分に反映されていない可能性がある。実際、いじめへの対応については全ての回答において肯定的評価が上昇した。

・学校行事については、新型コロナウイルス対応で中止や制限がかかったにも関わらず生徒の満足度は高く、他の項目でも現状で精一杯の工夫をして学校に生徒の居場所を確保する取組みを行っており、それが功を奏しているのではないと思われる。

・日々の業務、おつかれさまです。第1回学校運営協議会が書面での開催となり、授業の見学や映像での生徒の様子が見れず、とても残念です。休校中の課題の作成や分散登校、個人面談など子ども達の学習や心に添った対応を考え、実行して下さい。先生方にはとても感謝しています。ありがとうございます。短い夏休みですが、感染しない様、子ども達自身もしっかりと考えながら遊びに出ています。たくさんの対応に追われた先生方にとっても、心安らぐ休暇を送られますよう、リフレッシュをしてまた子ども達とたくさん接してやって下さい。 まだまだ、オンライン授業や修学旅行、ケント校との交流など調整が大変だと思いますが、子ども達の大切な思い出となるものですので、よろしくお願いします。

・新型コロナウイルス対応にあたり、先生方のご尽力には心から感謝申し上げます。学校教育活動につきましては、様々な制限のある中、子供達の事を一番に考えての努力には頭の下がる思いです。クラスターに至らず、安心しております。感染された先生には申し訳ないのですが、「これくらい大丈夫だろう」との甘さが不安をもたらしました。感染のリスクは誰にでもあります。「うつらない、うつさない」は大前提です。もちろん、これは子供達、私達保護者もです。この状況はまだ続きます。安心して学校生活を送れるよう、学校内、家庭内での体調管理はとても大切だと思います。先生方にはこれからも多大なご負担をかけることと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 【第2回 11月16日（月）】

・授業見学をさせていただき、生徒の様子がよくわかった。1年生は真面目に受けていた。2、3年生は疲れも見えたが、騒ぐ生徒もおらず、感心した。先生方もご苦労されていることと思うが、行事の実施等、子どもたちの思い出となっているので、できるだけさまざまな経験をさせてあげてほしい。

・オンライン授業、一つひとつ作るのは大変だと思う。コロナ禍で生徒や保護者は不安に思っているだろうが、アンケート結果を見ると、さまざまな点で前年よりアップしている。コロナ禍でも、しっかりできることをやってこられたからこそその結果だと思う。生徒に寄り添ってやっていただいていると感じた。

・3年生は授業で疲れが見えたが、今は応援団の練習や衣装づくり等寝る間も惜しんで取り組んでいる。アブリンピック（3年生中心の体育大会）まであと少し、よろしくお願いします。

・全学年通して、先生方がとてもよくやってくださっていてありがたい。クラスの中でいろんな不安を抱えている生徒もいると思う。保護者は生徒からしか話を聞かないので、それを鵜呑みにするわけにはいかないが、生徒も保護者も不安に思っていることがたくさんある。行事を楽しみに思っている生徒もいれば、そうでない生徒ももちろんいる。さまざまな生徒がいる。先生方もだろうが、保護者として子どもにどう声掛けをしていったらよいかと思っている。

・中学校でも行事の面、苦しんでいる。高槻市の中学校は修学旅行を中止にした。体育祭や修学旅行の代替行事等、天候やコロナの感染状況で実施できるか当日までわからない部分もある。明日、修学旅行の代替行事だが、今のところ実施できる予定で非常に嬉しく思う。「コロナやからしょうがないね」ではなく、子どもたちにとってプラスになることを、と考えるのは高校も中学校も同じだと、今日は感じた。今年は6月スタートなので、いつもとは違うリズムになっている。今の時期から、いろいろと出てきている。今までの流れとちがうので、苦しんでいる子どもは多いのではないのかと思う。

・上級生がやることを見て受け継いでいくのは大事。「あぶりすからのメッセージ」（文化祭閉会式時に3年生が後輩へのメッセージを流したものにそれが入っているのはすばらしい。これから先も、子どもたちが一つになってやっていけるよう願っている。

## 【第3回 2月5日（金）】

・保護者へのアンケートは子どもから学校生活のこと聞いた上での回答になってしまう。つまり、保護者からは見えない点がある。アンケートの評価が上がることは学校全体にとっては良いことだと思うのだが、マイナスの評価の点については「では、学校はどうしてくれるのだろう。」とってしまう気持ちが保護者にとってはある。このような点に対処していく上でのアンケートだと思うのだが、その点が保護者にはわかりづらいかな、という気持ちが少しある。

・今年PTAの「行事ができなかったというのもあって思うのだが、PTA会員の保護者の人と先生方とのコミュニケーションが取れたら、先ほど言っていたような「見えない」というところが少しでも緩和されていくのではないかと。来年度はぜひもっとPTA活動を活発に行っていただいて、保護者と先生方が一緒になって子どもたちを見ていただけたらなと思う。

・コロナ禍の中で当たり前続けることがいかに大変だったかと思う。先生方がとてもいろんな工夫をされて、努力されて日々やってこられたことが、このように評価されたのだと思う。学校の環境や美化について、先生の意識調査でもあったように、ここに問題意識があるのではないかと。できたら生徒と一緒に取り組めるような形にしていけたら。同窓会のお金もあるので、そういうところにも使わせてもらって、きれいになって、中3生から見て「そういう学校に行けたらいいな」という風になればいいな。また、建物や設備じゃない面で、いい先生がたくさんいるんだなということも、もっともっと言っていきたい。

・今おっしゃっていたように、生徒たちのアンケート等の数字が上がっているのも先生方が努力されていることの表れだと思う。

・授業改善のグラフを見て、確実に成果が上がっているなあと。これだけ上げようと思っただけでなかなか大変。よく頑張られてるんだなあと。それと、どれも頑張れ

府立阿武野高等学校

<p>【地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化する学校力の向上】</p> <p>《教員回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 必要な情報を生徒・保護者・地域へ周知／97.3%／-0.1p</li> <li>* 経験の少ない教員へのフォロー体制／81.1%／-0.5p</li> <li>* 教育活動について日常的に話し合っている／97.3%／-2.7p</li> <li>* 教員間の相互理解や信頼関係／86.5%／-3.0p</li> </ul> <p>《保護者回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 学校からの情報提供・意思疎通／89.7%／+13.3p</li> </ul> <p>・保護者との意思疎通等は、新型コロナウイルス対応もあって、より一層行えるようになった。不幸中の幸いである。今後もオンラインでの情報発信を活発化させていきたい。また、教職員の組織的取組みも今年は微減しているが、過去5年では二番めに高く、引き続き取組みを進めていきたい。</p>	<p>てると思うのだが、障がい理解のところ。特にこの3年になるがとても上昇している。ぴあもありますし、生かされているんだろうなあと感じた。授業評価が79%から87%に上昇している。数年かけてさらに10ポイント上がっているのはすごいなと思う。授業改善に取り組んでおられることを見聞きしているし、単純なスキルだけでなく先生と生徒の人間関係がうまくいかないと、これだけのポイントというのは上がっていかない。授業だけじゃなくて本当にいろんな面で、先生方が努力されているんだなと感じる。また来年度も続けて頑張っていたらと思う。</p> <p>・私も話を聞いていてそう思う。それが授業改善の数値に示されているんじゃないかなと。そして、授業改善のその裏には先生と生徒の人間関係があるんじゃないかな。先ほど触れましたけど、例えば遅刻指導でも、やっぱり実際に生徒とふれ合いながら口喧嘩したりしながら実体験でやっている。交通安全テストなども授業改善以外で人間的なふれ合いがある。人権教育の考え方が特殊な人権教育だけではなくて全て学校生活の中に入ってきている。保護者の肯定的な回答も阿武野高校は高いと思うし、お互いに先生と生徒と保護者が三位一体になって、年々良くなってきている。来年度も数値が上がることも、それプラス中身をどんどん充実させていって、地域の模範となるような学校にしていってほしいなと思う。</p> <p>※満場一致で「令和3年度学校経営計画（案）」は承認された。</p>
--	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1	<p>確かな学力の育成と授業改善</p>	<p>(1) 生徒の参加・活動量の多い「わかる授業」をめざした授業改善に取り組み、自ら学ぶ生徒を育てる。</p> <p>(2) 学習環境の整備、授業規律の確立を図る。</p>	<p>(1) アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心、知識技能に係る授業アンケート満足度を前年度(80%)より向上させる。</li> <li>・平均家庭学習時間を前年度比10分増加させる。</li> <li>・ICTを使用した授業5000時間以上を維持。</li> <li>ウ・国際交流事業の活性化。</li> <li>エ・あぶプロで新カリキュラムを策定する。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア・学校教育自己診断(生徒)における「クラス清掃をきちんとする」の肯定的評価を前年度(66%)より向上させる。</li> <li>・同「私語が少なくしっかり授業を聞く」の肯定評価を前年度(57%)より向上させる。</li> </ul>	<p>(1) アイウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心、知識技能に係る授業アンケート満足度は88%。(◎)</li> <li>・平均家庭学習時間1年で38分減少、2年で5分増加、3年で20分増加した。(△)</li> <li>・ICTを使用した授業時間は6691時間。(◎)</li> <li>・国際交流事業については新型コロナウイルス対応の為に全て中止となった。Web交流も相手校の休校期間が長く、実施は3学期後半に英語の授業で実施した。(○)</li> <li>・あぶプロで新カリキュラムはほぼ完成。それに伴う観点別評価の本格的導入に向けての準備に取り組み始めている。(○)</li> </ul> <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「クラス清掃をきちんとする」の肯定的評価は72%。(◎)</li> <li>・「私語が少なくしっかり授業を聞く」の肯定的評価は61%。(○)</li> </ul> <p><u>コロナ禍で大変な中、国際交流は一切出来なかったが、それ以外の項目では概ね目標を達成できた。引き続き、丁寧に取り組んでいきたい。</u></p>
2	<p>進路意識の高揚とコース制の充実</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア・3年間で、LP、LHRにおける系統的・継続的なキャリア教育が充実するよう、進路指導部・学年・人権教育担当分掌が協議し、より良いキャリア教育を構築する。</li> <li>・進路指導部・教務部・学年団が協力して、補習・講習を実施し、進路実現に導く。</li> <li>・1年次は自尊感情の育成とともに、LP「素敵な大人インタビュー」等を通して将来の職業生活についての意識を高める。全員の3者面談を実施し、進路決定や職業を意識したコース選択、科目選択を徹底する。</li> <li>・2年次は進路体験学習等のキャリア教育、個人面談により、適切な科目選択、卒業後の進路目標の確定に導く。</li> <li>・3年次は進路別対策講座を実施するとともに、担任・進路によるきめ細かな進路相談を行い、進路希望実現100%をめざす。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア・専門コースや選択科目が生徒の進路に結びつくよう、教育内容の充実を図る。</li> <li>イ・地域諸団体との交流・連携を推進し、進路意識の高揚を図る。</li> </ul>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア・同「進路や職業について学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度(86%)より向上させる。</li> <li>・2年生の進路目標確定95%以上。</li> <li>・卒業時進路決定率を前年度(94%)より向上させる。</li> <li>・学校紹介就職内定率100%。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア・同「専門コースの授業に満足」の肯定的評価を前年度(82%)より向上させる。</li> <li>イ・同「地域の方から学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度(76%)より向上させる。</li> </ul>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路や職業について学ぶ機会がある」の肯定的評価は92%。(◎)</li> <li>・2年生の進路目標確定は100%。(◎)</li> <li>・卒業時進路決定率は96%。(○)</li> <li>・学校紹介就職内定率は100%。(○)</li> </ul> <p>(2) アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「専門コースの授業に満足」の肯定的評価は83%。(○)</li> <li>・「地域の方から学ぶ機会がある」の肯定的評価は81%。(◎)</li> </ul> <p><u>引き続き、キャリア教育への肯定的評価は高く、今年は現時点でそれが少しずつ進路実現に結びついている手ごたえがある。</u></p>

## 府立阿武野高等学校

<p>3 安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成</p>	<p>(1)すべての教育活動を通じて安全で安心な学校を作り上げ、規範意識、自尊感情、人権意識の高揚に努める。</p> <p>(2)生徒の自主的活動を支援し自尊感情を育成すると共に、自らを律し他人を思いやる心を育てる。</p>	<p>(1) ア・全教職員が協力して登校時校門指導を行い、遅刻、頭髪、制服の指導を強化するとともに、挨拶ができる生徒を育てる。 ・生徒一人ひとりが「阿武野高生の代表」という自覚を持ち、責任ある行動、言葉遣いができるよう一貫した生徒指導を行う。 ・カウンセリングマインドを持った生徒指導を推進する。 イ・1年次に地域交流による「障がい理解学習」を行う等、LP、LHRでアサーション・トレーニングやメディアリテラシーの取組を含めた人権学習等を計画的に実施し、安全で安心な学校づくり、人権意識の高揚を図る。 ウ・2年次に社会貢献活動「あぶねっと」を行う等地域交流を推進し、学校教育全般を通じて生徒の規範意識、自尊感情、人権意識を育てる。 エ・防災教育を計画的に行う。 ・自転車運転ルールの順守、マナーの向上について、交通安全テスト等を活用し、定期的な注意喚起を行う。</p> <p>(2) ア・学校行事、生徒会活動の活性化を図る。 イ・部活動の活性化を図る。 ウ・各学年、相談室委員会、配慮特別委員会が情報を共有し、SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)、関係機関との連携を推進して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制を維持する。</p>	<p>(1) ア・年間延べ遅刻数 3000 人以下。(前年度 3762 人) ・同(教職員)「カウンセリングマインドのある生徒指導の実施」の肯定的評価を前年度(86%)より向上させる。</p> <p>イウ ・同(生徒)「人権の大切さを学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度(87%)より向上させる。 ・同「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価を前年度(72%)より向上させる。 エ・防災教育、交通安全教育の各学期実施。交通安全テストの全員合格。</p> <p>(2) ア・同「学校行事満足度」の肯定的評価を前年度(74%)より向上させる。 イ・部活動加入率を前年度(50%)より向上させる。 ・生徒会や部活動による地域交流を前年度(18回)より増やす。 ウ・「個別の教育支援計画」の作成と適切な支援。</p>	<p>(1)ア イ ウ ・年間延べ遅刻数は 3048 人。前年度よりは減少しているが目標は達成出来なかった。(△) ・「カウンセリングマインドのある生徒指導の実施」の肯定的評価は 89%。(○) ・「人権の大切さを学ぶ機会がある」の肯定的評価は 89%。(○) ・「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価は 74%。(○) ・1 学期の避難訓練は休校の影響で避難経路の確認のみ実施。2・3 学期はコロナ対応で教室での実施となったが、コロナ禍での避難を考える取組みを実施。交通安全テストは全生徒が合格点を取った。(○)</p> <p>(2)ア イ ウ ・「学校行事満足度」の肯定的評価は 80%。(◎) ・部活動加入率は 50%を少し上回った。(○) ・生徒会や部活動による地域交流は、コロナ対応で全て中止。(一) ・「個別の教育支援計画」は必要な生徒に全て作成。教育相談委員会を時間割の中に位置づけ、適切な支援に繋げた。(○)</p> <p>概ね目標は達成出来ているが、<u>相変わらず部活動加入率を向上させる事が出来ていない。中学生への勧誘段階から引き続き取り組んでいきたい。</u></p>
<p>4 地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化させる学校力の向上</p>	<p>(1)広報活動を推進する体制を強化し、学校教育活動を活性化させる。</p> <p>(2)組織的、継続的に学校力の向上を図る。</p>	<p>(1) ア・中学校訪問、中高連絡会、学校説明会等を計画的、組織的に実施する。 イ・学校紹介スライド、3年間の学び・みえるプラン、広報誌(ABULIFE)を作成すると共に、校内のデジタルサイネージを推進し、教育活動の効果的な情報発信に努める。 ・文書、保護者メール、ホームページ等を使って保護者との連絡をより密接に行い、学校との信頼関係を向上させる。</p> <p>(2) ・日常的な OJT の推進に努め、経験年数の少ない教職員の育成体制の充実を図る。 ・府教育センターや各研究団体等の研修を活用し、伝達研修の充実を図る。 ・地域の府立学校とも連携し、多様な課題に対応するための職員研修を計画的に実施する。 ・OJT の充実や ICT の導入によって業務の効率化を進め、ストレスチェック制度の有効活用も行い、教職員の負担感軽減を図る。</p>	<p>(1) ア・学校説明会等の計画的、組織的実施 6 回以上。 イ・HP をより見やすく改善する。 ・同(保護者)「教育情報提供満足度」の肯定的評価を前年度(74%)より向上させる。</p> <p>(2) ・伝達研修を含む職員研修の実施 12 回以上。 ・同(教職員)「経験年数の少ない教職員をフォローする体制」の肯定的評価を前年度(82%)より向上させる。 ・ストレスチェック結果の総合健康リスクが事業場全体より下位。</p>	<p>(1)ア イ ・新型コロナウイルス対応で合同説明会が中止となる中、校内での説明会は 3 回実施。部活動体験会も時期をずらすなど、参加環境に配慮して開催。(○) ・HP は緊急連絡を見やすくするなどした。(○) ・「教育情報提供満足度」の肯定的評価は 78%。(○)</p> <p>(2) ・今年度はコロナ対応の為に外部講師を呼んでの人権研修中止が二度あり、教職員のセンターでの研修も殆どが Web 研修に変更。それでも、新カリリに向けての研修や職員会議時の伝達研修を計 10 回行った。(○) ・「経験年数の少ない教職員をフォローする体制」の肯定的評価は 81%。(△) ・ストレスチェック結果の総合健康リスクは昨年度と同様に事業場全体より下位だった。(○)</p> <p>今年度は緊急連絡を行う事が多く、それが逆に保護者への情報提供を進める結果となった。一方で、中学生の生徒や保護者に対面で訴える効果的な機会が減少したので、次年度はオンラインも含めて検討していきたい。</p>